



威風堂々！ 出初式



当別消防署と当別消防団による「当別消防出初式」が総合体育館で行われ、消防関係者約 200 人が参加しました。式典は各分団による行進で始まり、功労者に対する表彰や感謝状の伝達が行われました。宮司町長から「多様化する災害に備えて日頃から鍛錬して欲しい」と祝辞が述べられ、団員は火の手から住民の命を守るよう、決意を新たにしていました。

(1月7日)

年に一度の現金つかみどり



とうべつポイントカード会が主催する「現金つかみどり抽選会」が、今年も1月2日・3日にふれあい倉庫で行われました。町内のアウルカード加盟店で買い物をし、ポイントをためた満点カードを持参すると、くじ引きに挑戦ができるこのイベントは、今年で14回目。開場前から多くの来場者が列を作り、くじ引きで今年の運だめしをしていました。1等の千円札つかみどりに当選した吉泉重夫さん(若葉在住)は、「現金つかみどりをするのは初めて」と思いがけない幸運に、上着を脱いで臨んでいました。(1月3日)

手に汗握るカルタ大会



「第49回新春子どもカルタ大会(当別町子ども会育成連合会主催)」が総合体育館で行われました。今回から育成会の枠を超えて広く参加を募り、友達同士や親子で出場するチームもありました。町内の小・中学生を中心に13チーム・40人が大会に参加。札が読み上げられると会場の空気が一変し、静寂と緊張状態に。札を取った後は、力強く床をたたいて自分が札を取ったことをアピールする姿もみられました。激闘の末、見事優勝を果たしたのは小学生の部が「栄町」、中学生の部が「栄町緑町」でした。(1月19日)

広 告

広 告

広 告

広 告

気合を込めて一刀両断！



年頭にあたって剣術の気合を高めようと、当別剣道連盟（宮永雅己会長）による鏡開きが白樺コミセンで行われました。鏡開きはもともと武家社会の伝統行事で、鎧よろいや兜かぶとなどの具足に供えた鏡餅を雑煮にして食べた習慣が始まりといわれています。同連盟の関係者や町内の剣道少年団の子どもたちが鏡開きに参加し、気合を込めた掛け声とともに、餅に向かって刀を振りました。稽古後には、切った餅を雑煮にして参加者全員で食べ、今年一年の無病息災と剣術の上達を願っていました。

(1月19日)

可愛い小鬼ちゃんがいっぱい♪



あそびのひろば（町教委主催）で「鬼のお面作り」がゆとろで行われ、町内の親子7組・15人とことぶき大生4人が参加しました。お面は1歳くらいの小さな子も簡単に作れるように、事前に切り取られた画用紙を両面テープなどで貼り合わせたり、クレヨンで口などを描くもので、あっという間に可愛らしい小鬼ちゃんのお面を完成させていました。壁面には画用紙で作った大きな赤鬼と青鬼が飾られ、やわらかいボールをぶつけて鬼退治をする「豆まきゲーム」などで、ひと足早い節分を楽しんでいました。(1月21日)



廣 告

廣 告

廣 告

廣 告